一般

# 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		東京事務所観光物産推進事業					1584
+n -m -m -m	所属名	商工観光部 東京事務所			担当係名		
担当課等	課長名	商工観光部 東京事務所	担当者名	高橋 孝	≇子	電話番号	03-3595-7101

### 1. 事務事業の基本情報

	施策の柱	活力ある産業の振興		施策	地域次海ナルム と 知り 地 立の 長田	コード			
	旭泉の性	百月の句座来の振典	5	<b>心</b> 來	地域資源をいかした観光・物産の振興 	4			
総合計画体系	#+=#	魅力あふれる物産の振興	コード	関連予算		 )振興			
	基本事業		3	費目名	(002-01)				
	特記事項								
事業期間	● 単年度 ○ 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度								
事務事業の概要	既要 各種イベントを通じ盛岡のイメージアップを図り、観光物産へのニーズ等を検討する								
根拠法令等									
この事務事業を開	始したきっか	いけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)							
東京事務所開設	を機に事務所	事業として平成7年から開始							
この事務事業に対	して関係者	(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からと	ごのような	:意見·要望か	が寄せられているか				
   首都圏での観光や物産のPR活動の重要性について,議会からも指摘がある									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか									
東京都の区や中核市東京事務所との連携により協同の事業開催や物産・観光PRの機会が増加した。今後も連携を推進することにより、PR機会・対象者は増加する見込 である。									

# 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象	首都圏在住者	⇒	②対象指標	A. 観光展等入場者数	単位	人
(誰を,何を対象としているのか)			(対象の大きさを 示す指標)	B. 首都圈人口	単位	万人
				C.	単 位	
③手段	22年度実績(22年度に行った主な活動)	⇒	④活動指標	A. 事業開催日数	単 位	日
(事務事業の内容, やり方, 手順)	岩手の観光と物産展、東京湾納涼船、雪と温泉の観光 展文京博覧会への出展文京アンテナスポットでの盛岡 りんごPR、北東北観光展一などの事業を通じて、盛岡の イメージアップを図る。 23年度計画(23年度に計画している主な活動)		(事務事業の活動・ 量を示す指標)	В.	単位	
				C.	<b>単</b> 位	
	岩手の観光と物産展,東京湾納涼船,雪と温泉の観光 展、文京博覧会への出展、文京アンテナスポットでの盛岡 りんごPR,北東北観光展ーなどの事業を通じて,盛岡 のイメージアップを図る。					
⑤意図 (この事業により 対象をどのように	観光展や物産展の来場者に対してPR活動を行うことで、 関心を高め、観光への動機付けや購買意欲の喚起を図 る。	<b></b>	⑥成果指標 (意図の達成度を 示す指標)	A. 観光展入場者数 【指標の性格:  Lげる  下げる  維持する】	単 位	人
変えるのか)			小 9 1日1宗/	B. 事業開催日数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単 位	日
				C. 【指標の性格:〇 上げる 〇 下げる 〇 維持する】	単 位	
⑦結果 (上位基本事業 の意図:上位の 基本事業にどの ように貢献する か)	特産品が創出され、育成される	⇒	<ul><li>⑧上位成果 指標 (上位基本事業の 成果指標)</li></ul>	特産品の取扱高(盛岡市特産品振興協議会会員企業)(単位:百	万円	)

## 2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

<u> </u>	デスの古住市保の <b>夫順及</b> の古保恒								
区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	観光展等入場者数	7	12464	22307	24000	31000	35000	35000	年度
対象 指標B	首都圏人口	万人	3400	3400	3400	3400	3400	3400	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	事業開催日数	日	I	12	13	26	26	26	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	観光展入場者数	人	12464	22307	24000	31000	35000	35000	年度
成果 指標B	事業開催日数	日	_	12	13	26	26	26	年度
成果 指標C			_			_			年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	250	250	250	250	250	250	****
財源	財源 ④国								****
内訳	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	250	250	250	250	250	250	****
	⑧その他	千円							****
	合 計(④~⑧) (=A)	千円	250	250	250	250	250	250	****
	延べ業務時間数	時間	180	180	180	180	180	180	****
耶	戦員人件費 (B) (臨時職員賃金は, 事務費に含む)	千円	720	720	720	720	720	720	****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	970	970	970	970	970	970	****

## 3. 事務事業の評価(See)

$\overline{}$								
必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか?	<ul><li></li></ul>						
評		理由:物産展を通じて盛岡を知ってもらうことが結果に結びつく。						
価	②公共関与の妥当性	○ 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ						
	市がやるべき事業ですか? 税金を使って達成する目的ですか?	● 妥当である						
		□「妥当」とする理由:						
		理由:地域資源を活用した観光・物産の振興であり妥当である。						
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか? 広げら れませんか? また絞らなくてよいですか?	<ul><li>拡大または絞る余地がある</li><li>現状で妥当である</li></ul>						
		□「妥当」とする理由: 法定事務である 内部管理事務である その他						
		理由:首都圏在住者を対象にしているので妥当である。						
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりし て、成果向上できませんか?	<ul><li>拡大または絞ることができる</li><li>動 現状で妥当である</li><li>⇒ 4. 事務事業の改革案へ</li></ul>						
		<b>└「妥当」とする理由:</b>						
		理由:盛岡に関心や興味をもってもらうことを意図しており妥当である。						
有効性	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか?	● 向上余地がある ○ 向上余地がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ						
有効性評価		その内容:各種イベント企画や手法を変化させることによって、違った興味や関心を持つ方々を集客することができる。						
	(⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合,施策の成果に及ぼす影響はありますか?	<ul><li>○ 影響がない</li><li>⇒ 4. 事務事業の改革案へ</li><li>● 影響がある</li></ul>						
		その内容:事業を休止した						
	⑦類似事務事業との関係	● 類似事業がある						
	類似の事務事業(国, 県, 市の内部, 民間)はありませんか?	類似事業がない						
		事業名:盛岡デー開催事業						
		統廃合・連携検討 ○ できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ できない						
		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□						
効	⑧事業費の削減余地	○ 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ						
率性評	成果を下げずに事業費を節減できる余地はありませ   んか?	● 削減できない						
価		理由:最低限の予算で実施しているため。						
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減す る余地はありますか?	<ul><li>○ 削減余地がある</li><li>● 削減できない</li></ul>						
		└────────────────────────────────────						
公	⑩受益機会の適正化余地	○ 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ						
半性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか?	● 公平・公正である 特定の受益者はいない						
Ш		世由:盛岡市の観光物産のPRであるため適正化余地はない						
	①費用負担の適正化余地	○ 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ						
	受益者の費用負担の適正化余地はありますか? 	● 公平・公正である ○ 特定の受益者はいない						
1		└──						

## 4. 事務事業の改革案(Plan)

①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること

ひさい。
①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)
※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
が立:中核市や岩手県市町村東京事務所協議会(盛岡市・花巻市・雫石町)及び岩手県と連携をさらに密にして、直首都圏での観光PR事業の新たな機会を得るよう情報収集をしていく。
②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
実施主体としては、人員・物販方法についての制約があること。関係部署と連携を強化して課題解決を図る。 拡充:中核市や岩手県市町村東京事務所協議会(盛岡市・花巻市・雫石町)及び岩手県と連携をさらに密にして、首都圏での観光PR事業内容の充実をはかる。また、 首都圏での観光PR事業の新たな機会を得るよう情報収集をしていく。

実施主体としては、人員・物販方法についての制約があること。関係部署と連携を強化して課題解決を図る。

### 5. 課長意見

	(1)一次評価者と	しての評価約	· 吉果		(2)全体総括(振り返り, 反省点)			
一次評価	① 必要性:	● 妥当	○ 見直し余地あり	الح	今年度は、岩手銀河プラザにおいて岩手の観光と物産展、雪と温泉の観光展を開催したほか、東京湾納涼船での観光PRや、文京は野人のの観光PRや、でま			
	② 有効性 :	● 妥当	○ 見直し余地あり	<mark>اح</mark> "	博覧会での物産販売、文京アンテナスポットでの盛岡りんご販売、 東京タワーでの観光PR展などの事業を展開し、首都圏での盛岡の イメージアップ、観光物産振興に取り組んだ。しかし、人員や物販			
	③ 効率性 :	● 妥当	○ 見直し余地あり		方法等に制約があり、開催場所、時期、期間の効果的な設定を行う等、関係機関との連携や協力方法等を検討する必要がある。			
	④ 公平性 :	● 妥当	○ 見直し余地あり					
	(3)今後の事務の	)方向性(改革	<b>直</b> 改善案)					
今後	□ 終了 🗵 継続	<del>-</del>	→ □ 現状維持(従来通りで特に	改革改	善をしない)			
	□ 廃止 □ 休止	Ė	□→□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	~-~				
向			□ 事業統廃合・連携					
性上								
改								
の方向性と改革改善案								
善		L	0.1.1					
柔	┃ 方向付けの理印	田と改革改善	の内容					
	首都圏における盛岡ブランドを中心とする観光物産の開催は、市のイメージアップや発信となるものであるが、人員や物販方法等に制約があり、開催場所、時期、期間の効果的な設定等が行えるよう、係機関との連携や協力方法等検討し、成果の向上を目指す。							